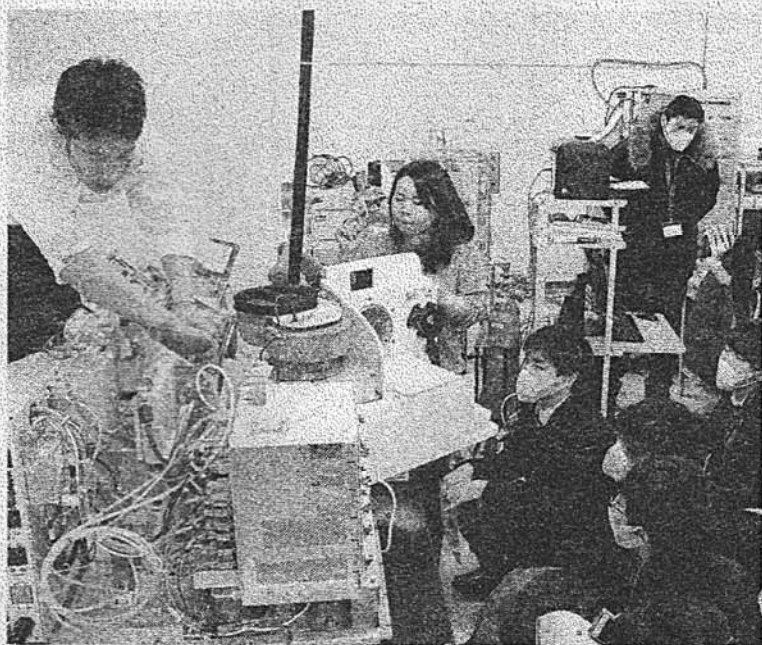


質量分析計内部を観察 福大で解体実験



質量分析計の解体が行われた授業

福島大は、福島市の同大で、放射性ストロンチウムを計測する「質量分析計」の解体実験を行い、通常見ることができない機械の内

部を観察した。

文部科学省が東京電力福島第1原発の廃炉の加速につながる研究や人材育成を目的とした「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業」に採択した事業の一つ。共生システム理工学類の高貝慶隆准教授（分析化学）を代表に同大の学生や福島高専の生徒らが放射性ストロンチウムの計測を迅速化するための研究などに取り組んでいる。

今回は、質量分析計を製造するパーキンエルマージャパン（神奈川県）の職員を講師に同分析計の解体を実施。受講者約30人は解体された機器の説明を受けながら今後の研究に生かそうと真剣に聞き入った。